第五列は「敵に内通して助ける国内勢力」を意味している。日本軍が進攻すると、現地

人が日本軍に、積極的に協力した。インテリジェンスは、諜報活動のことだ。 ところが、日本の学校教科書や、辞典では、大東亜会議を「宣伝のために、"占領地の

傀儡。を集めて開催したもの」としている。 協力して、反英運動を展開。四三年八月には日本の傀儡政権ではあるが、『独立』を達成 民族運動指導者(中略)第二次世界大戦下、日本軍がビルマに侵攻した際には、日本軍と 『広辞苑』によって、「バーモー」の項目をひくと、「ビルマ(現ミャンマー)の政治家、

ら、まったくでてこない。「大東亜共栄圏」が短い項目としてあるが、「大東亜共栄圏 平洋戦争当時、日本の中国ならびに東南アジアに対する侵略政策を合理化するために唱え し、国家代表の地位についた」と、説明している。 平凡社『世界大百科事典』には、大東亜会議の項目がないし、大東亜会議という言葉す

られたスローガン」ということから、始まっている。 どうして、日本の辞書や、百科事典が、戦勝国史観を宣伝しなければならないのだろう

アジア諸民族を鼓舞した気高い精神

# インパール作戦がもたらしたインドの独立

78

する反逆罪によって、デリーのレッド・フォートで裁判にかけた。 反乱軍として、ヒンズー教、シーク教、イスラム教徒の三人の将校を、イギリス国王に対 日本が戦争に敗れると、イギリスはインパール作戦を戦ったインド国民軍(INA)を

ヒンズー教、シーク教、イスラム教は、インドの三大宗教であり、三人の将校をインド

の象徴として選んだのだった。

反逆者ではない」と、いっせいに立ち上がった。 ところが、裁判が始まると、インド全土の民衆が憤って、「INAは愛国者であって、

を認めざるをえなかった。 上空から群衆に機銃掃射を加えるまでして、鎮圧を試みたが、混乱がいっそうひろがった。 数百万人がインドの街頭を、埋めた。イギリスはスピットファイアー戦闘機を飛ばして、 ついに、インド将兵が部隊ぐるみで、抗議に加わったために、イギリスはインドの独立

よる独立運動によるものではなく、インド国民軍が日本軍とともにインドへ侵攻したイン 世紀を振り返った大著『極端な時代』のなかで、インドの独立が、ガンジー、ネールに イギリスの著名な歴史家である、エリック・ホブスボーム・ロンドン大学教授が、二十

パール作戦によって、もたらされたと、述べている。

う目的を、達成したのだった。 インパール作戦は、惨憺たる失敗に終わったが、インドをインド人の手に取り戻すとい

私は一九八〇年代から、インドに足繁く通った。

参加したが、多くの催事が行われた。 平成九(一九九七)年八月に、ニューデリーで催されたインド独立五十周年記念式典に

参の社会主義者であり、これまで何回か、大統領候補として、擬せられてきた。 インド国民が勇気づけられて、独立運動に立ち上がった」と、挨拶した。レイ元議長は古 一九○五年という年を、忘れることができない。日本が日露戦争に勝ったことによって、 インド政界の大立物だったラビ・レイ元下院議長が、「このよき日を祝うのに当たって、

民への恩義を忘れない」と、訴えた。 「太陽が空を輝かし、月光が大地をうるおし、満天に星が瞬く限り、インド国民は日本国 独立運動の闘士で、インド法曹界の重鎮であるレイキ博士が、インパール作戦に触れて、

の三人の幹部が、私をホテルにたずねてきた。「戦友会をあげて日本に感謝している。感 翌年、ニューデリーに戻ったところ、インド国民軍の戦友会である、INA全国委員会

謝状を靖国神社に奉納したい」というので、英文の感謝状を預かった。

80

私は感謝状を翻訳して、靖国神社に奉納した。

な貴国は、インドを解放するのに当たって、可能な限りの軍事援助を提供しました。 「インドが日本の御蔭を蒙っていることは、言語に尽せない大きなものがあります。

してくれました。 何十万人にものぼる日本軍将兵が、インド国民軍の戦友として、ともに血と汗と涙を流

ません。インドの独立は日本帝国陸軍によって、もたらされました。 インド国民は、日本帝国陸軍がインドの大義のために払った崇高な犠牲を、

ここに、日印両国の絆が一層強められることを祈念します。S・S・ヤダフ、インド国

民軍全国委員会事務局長 インド国民軍大尉」

というものである。

神社では訳文とともに、さっそく遊就館に展示してくれた。

「白骨街道」と、呼ばれた。 いわれ、退却する時に餓えと、戦病傷によって兵士らが倒れたために、屍が累々と連なるインパール作戦は二万人以上の日本将兵が戦病死して、無謀きわまりない作戦だったと

#### 戦争未亡人からの手紙

状を、靖国神社に奉納するように頼まれて、預かったことと、ホブスボーム教授の著書の 話をした。 私はインドから帰ってきて、テレビ番組に出演した時に、インド国民軍戦友会から感謝

てて、手紙が送られてきた。 すると、テレビ局気付で、インパール作戦で夫が亡くなったという未亡人から、私に宛

まれて、同封されていた。 ビデオをお送りいただけたら、深謝申し上げます」と綴られて、五千円の新札が折りたた ンドの独立をもたらしたことを知って、思わず、嬉し涙を拭いました」と、書かれていた。 「長いあいだ夫が犬死にしたと思ってきましたが、番組を拝見して、インパール作戦がイ そして、「お忙しいところを、お手数をおかけしますが、仏前に供えたいので、番組の

私はテレビ局に頼んで、ビデオを入手して、未亡人へ送った。

月十八日に日本軍の輸送機によって、台北飛行場に降り、大連へ向けて離陸した直後に、 ボースは日本が大戦に敗れると、ソ連に渡って独立闘争を続けることを、決心した。八

乗機が墜落炎上して、死去した。

肖像画が国会議事堂のなかに、ガンジー、ネールと並んで、飾られている。 今日、ボースの銅像がインド国会議事堂の構内と、レッド・フォートの庭に建てられ、

ド自由の日)として、記念されている。 自由インド仮政府を樹立した日であって、インドで「アザット・ヒンデゥ・デイ」(イン と遺族を公邸に招いて、感謝の宴を催していた。この日は、ボースが日本の支援のもとに、 東京のインド大使館では、近年まで毎年十月二十一日に、インド大使がF機関の生存者

# 皇紀による年号が刻まれたジャカルタの独立記念碑

インドネシアは、日本が降伏した二日後に、独立を宣言した。

しまった。 日本は翌月の九月に独立を認めることで、合意していたが、その直前に日本が降伏して

たいと強く求めたが、ジャカルタの日本軍司令部は、日本が降伏した後に、インドネシア の独立を許すと、連合国が日本に対して、どのような報復を加えてくるかわからなかった 独立運動の指導者である、ハッタとスカルノが、連合軍が到着する前に、独立を宣言し

ので、強く反対した。

二千六百五年からとって、「05817」と記されている。 月十七日に独立宣言を強行した、インドネシア独立宣言文の年号は、日本に感謝して皇紀 ハッタとスカルノは、ジャカルタの日本軍司令部が強く反対したのにもかかわらず、八

だから、 いることができた。いまでも、ジャカルタの独立記念碑に、皇紀による年号が刻まれてい この年号は、日本軍によって強要されたものではなかった。インドネシアはイスラム国 キリスト教暦の一九四五年を使用することはありえなかったが、イスラム暦を用

議『紀元二○○○年のインドネシア』に招かれて、インドネシアをはじめて訪れた。 私は昭和四十五(一九七〇)年に、スハルト大統領がジャカルタで主宰した開発経済会

吊った将校が、インドネシア国旗を掲揚する。 インドネシアの青年を募って創設した、郷土防衛義勇軍(ペタ)の緑色の軍服に日本刀を 今日でも、八月十七日にジャカルタで行われる独立記念日の式典では、大戦中に日本が

そして、女性のコーラス隊がインドネシア語で「古きアジア 不幸に苦しむ 幾世紀も しき圧制を忍ぶ 大日本雄々しく立てり アジアを救い われらを守る 進め!

『愛国行進曲』や、『愛国の花』などの日本の愛国歌を合唱するのが、恒例となっている。 義勇軍!」という『ペタ・マルス』(義勇軍マーチ)を歌ったうえで、日本語で

84

私は独立式典の一部始終を掲影したビデオを、所蔵している。

万人以上の青年に、訓練を施した。 ペタは日本軍将校や、下士官兵によって、インドネシアが独立した後の国軍として、四

のもとに置こうとして、上陸した。 日本が敗れると、イギリス軍とオランダ軍がインドネシアを再びオランダの植民地支配

四年にわたる激しい独立戦争が、戦われた。ペタ出身者が、独立軍の中心となった。 インドネシア独立軍が、メラ・プティ(紅白のインドネシア国旗)を翻して迎え撃ち、

ンドネシアを担う人材が生まれた。 ペタの幹部のなかから、ペタの大団長だったスディルマン・インドネシア軍初代総司令 ウマル・ウィラハディクスマ副大統領をはじめとする、数多くのイ

インドネシアでは、戦後も、インドネシアの独立に貢献した日本の陸海軍将校や、ペタ ペタ出身者は、日本軍による教育がインドネシア青年にとって、軍事訓練としてのみな 独立へ立ち向う精神と、肉体を鍛成してくれたと、口を揃えて語っている。

の教官をつとめた日本軍人に、深い敬意が払われた。

てきてくれた。 私がジャカルタを訪れると、しばしばペタの出身者たちが、夫人連れでホテルをたずね

『空の神兵』『歩兵の本領』などの愛国歌や、軍歌を、つぎつぎと合唱してくれた。 そして、ホテルのロビーに集まって、手に歌詞カードを持って、日本の『愛国の花』

めて、次のようにたしなめた。 に、インドネシアの大統領特別補佐官兼情報庁副長官のアリ・ムルトポ准将が、発言を求 一九七七年に、マニラにおいて催された国際会議で、韓国代表が日本を強く批判した時

が戦うべきだったのに、日本人が立ち上がって、犠牲になった」 「日本はアジアの光である。太平洋戦争はアジアの独立のための戦争であった。アジア人

は狼狽して、俯いてしまったということだ。 ムルトポ准将によれば、東南アジア諸国の代表がいっせいに拍手したために、

司令官だったスディルマン将軍の銅像を、寄贈した。 平成二十三(二〇一一)年に、インドネシア政府が日本に、インドネシア独立戦争の総

この銅像は東京・市ヶ谷台の防衛省の構内に、たっている。

市ヶ谷台では、アメリカによって東京裁判が行われ、日本の指導者がアジアを侵略した

罪によって、裁かれた。

れて、全国民によって慕われていた。 スディルマン将軍は、独立戦争中に「パ・ディルマン」(ディルマン小父さん)と呼ば

ン将軍の銅像が、 ジャカルタに、スディルマン大通りがある。大通りの中央に、まったく同じスディルマ たっている。

置されている。 スディルマン将軍の銅像は、日本のなかのどこよりも、もっともふさわしい場所に、設

にたっていることは、東京裁判の合法性と、判決を否定するものである。 インドネシアの独立軍総司令官の像が、インドネシア政府によって贈られて、市ヶ谷台

十七日のインドネシア独立記念日には、ぜひ、銅像を詣でてほしい。 誰でも、防衛省に申し込めば、スディルマン将軍の銅像を参観することができる。

## 若者の心を打った『プライド 運命の瞬間』

連合国が市ヶ谷台にこしらえられた法廷で、日本を「侵略国家」ときめつけて、「平和

かねてから東京裁判が勝者による、不正きわまりない私刑にすぎなかったことを証す劇映 に対する罪」によって裁いた東京裁判は、裁判の名にまったく価しない蛮行だった。 私は大学生の時から、東宝の文芸部と契約を結んで、映画づくりにかかわってきたが、 それも大作をつくりたいと願っていた。

運命の瞬間』が、平成十(一九九八)年に製作されて、東映によって配給された。 私が原案を書いて、東條英機首相とインドのパル判事を主人公とする、映画『プライド

私が『プライド』という題名をつけたが、日本と、被告として裁かれた、東條首相の誇 あらわしていた。

は、観客は六十代か、七十代以上の老人ばかりでしょうな」と、いわれた。 もっとも、 東映本社で、はじめて打ち合わせを行った時に、東映側から「このテーマで

館を何回か覗いてみたが、二十代、三十代の観客が多く、なかには感動して、涙を拭って いる者が、少なくなかった。 ところが、封切られると、観客の半数以上が、四十代以下の若い人々だった。私は上映

反響を呼び、全国的に好成績を収めた。 私が製作委員会代表となった映画『プライド 運命の瞬間』は、 封切り前から、大きな

第四章 アジア諸民族を鼓舞した気高い精神

平成十年の上半期の邦画では、観客動員数で第一位をとった。この年通年では、東宝の

88

『踊る大捜査線』が興行成績のトップとなって、『プライド』が二位だった。

あげたからだった。 封切り前から、大きな反響を呼んだのは、新聞とテレビがニュースとして、大きく取り

ちの映画を非難して、村山前首相が詫びている映像が、映し出された。 冒頭で村山富市前首相が訪中して、前日、江沢民国家主席と会見した時に、江主席が私た 試写会が行われる前に、偶然、朝七時のNHK総合テレビのニュースをつけたところ、

すが、わが国は貴国と違って民主主義国であって、民間があのような怪しからぬ映画をつ に申し訳ありません」といって、頭を下げるところが、大映しになった。 くっても、政府としてどうしようもできません」というところを、村山前首相が「まこと 江主席が村山前首相を責めると、私だったら「私はあのような映画は許せないと思いま

となので、私たち一同大喜びした。 取り上げた。娯楽映画が新聞の一面で取り上げられるようなことは、通常はありえないこ その朝の朝日、読売から、毎日新聞まで、朝刊がみな、このニュースを一面のトップで、

中国がこの映画の存在を、試写会が行われる前に知ったのは、東映の労組の者か、

周辺の者が、 中国大使館に「ご忠進」といって、知らせたからにちがいなかった。

#### 自存自衛の精神を復元する

放した物語である『ムルデカ 17805』が、東宝によって全国で封切られた。 平成十三(二〇〇一)年に、私が製作委員会の代表となって、日本がインドネシアを解

国で上映されるのは、はじめてのことだった。 日本が先の大戦を通じてアジアを解放したという史実に基いた劇映画がつくられて、全

映画が始まると、「日本は自存自衛のために開戦した」という字幕が大映しになるが、 戦後はじめてのことだった。

「自存自衛」は、開戦の詔勅にでてくる言葉である。

たびに感動した。 私はこの映画を、フィルムを編集する前のラッシュの段階から、繰り返し観たが、その

多くの人々に試写を観てもらったが、感動して泣いたといった者が、多かった。ある大 教授は「戦後の屈辱の五十五年の歳月が、感動の涙によって、すっかり洗い流されまし といい、ある自衛官は「同僚たちに、涙を拭うためにタオルを持ってゆけといいま

す」といった。

90

タ)を編成して、養成した実話が、もとになっている。 公会、警防団、婦人会などの組織をつくるなど、インドネシアの独立へ向けて準備した。 は、軍政下で統一インドネシア語を制定し、学校教育を充実し、全島にわたって隣組、 にあって、蘭領東印度諸島、略して蘭印と呼ばれていた、インドネシアを解放した日本軍 この作品は、日本軍が独立後のインドネシア国軍の前身として、郷土防衛義勇軍(ペ 昭和十七(一九四二)年三月に、三百五十年にわたって、オランダの植民地支配のもと

原作は忘れられてしまった時代と、精神を復元するものだった。 公開前に、私が書きおろした小説『ムルデカ 05817』(自由社)が、出版された。

オランダ軍総司令部に単身、日本刀を抜いて乗り込み、司令官に降伏を迫る場面も、 した後に、陸軍中野学校で学び、昭和十七年にジャワ島に敵前上陸した。映画のなかで、 主人公は、熱血漢の柳川宗成中尉(終戦時に大尉)をモデルとしたが、拓殖大学を卒業

ペタをつくるに当たって、中心的な役割を果した。 柳川中尉は、将来のインドネシア国軍の幹部要員を育成する、『青年道場』を開設して

プティを翻して、迎え撃った。三万八千人にのぼるペタ出身者が、独立軍の中核となった。 の援けをかりて、戻ってきた。インドネシア独立軍が、紅白のインドネシア国旗のメラ・ インドネシアは、ペタなしでは、独立戦争に勝つことがなかった。 日本が敗れると、オランダ軍がインドネシアを再び植民地にしようとして、イギリス軍

った。柳川中尉は敗戦後に帰国しているから、その後の物語は、私が創作した。 の戦いを続けるために、インドネシアに残って、インドネシア人とともに独立戦争に加わ この時、インドネシアにあった二千人近くの日本兵が、祖国に復員せずに、アジア解放

ジャカルタの最後の激しい戦いで、勝利を収めた直後に、インドネシアの恋人と二人で喜 んでいる時に、オランダ兵によって狙撃されて死ぬ。 ンドネシア独立に生命を捧げた日本兵は、インドネシアの「英雄墓地」に葬られている。 私は主人公を、島崎武夫と名づけた。島崎はインドネシア独立軍が、ジャワ島のジョグ インドネシア独立戦争を戦った二千人あまりの日本兵のうち、その半数が戦死した。イ

「月が明るかったので、遠くの山の輪郭が、はっきりと見えた。 アリアティの額が、星を宿していた。月光がアリアティの顔に、美しい翳をつくってい

私はこの場面を、こう描いた。

3

響いた。 その時、島崎が突然、のけぞって倒れた。一瞬のちに、遠くからはじけるような銃声が

92

2

**『タケオ!』** 

アリアティが、悲鳴をあげた。そして島崎を抱き起して、膝の上に抱いた。

命中していた。

っせいに林のなかへ駆け込んだ。 狙撃されたのだ。すぐに、味方の銃声が起った。十数人の隊員が、 蘭印兵を追って、

ヌルハディが走り寄ってきた。しかし、どうすることもできなかった。

島崎が『リャティ』と、力なくつぶやいた。

『タケオ! タケオ! 私を残してゆかないで! タケオ!』

アリアティの鼻筋と頬に、涙が容赦なく流れた。

『タケオ! しっかりして! あなたの夢が実現するのよ! 日本の国は敗れたけれ 島崎が最後の気力を絞って、かすかに微笑んだ。 あなたは勝ったのよ!』

という意味を込めた。 私はアリアティの台詞に、日本は先の大戦に国家としては敗れたが、民族として勝った 島崎は息絶えていた。アリアティは何回も何回も、島崎に頬ずりした」

リャティはアリアティの愛称で、ヌルハディはペタ出身の戦友である。

無料で使わせてくれた。 月にわたって提供してもらった。また、軍事博物館が、当時の機関銃や小銃などの兵器を、 バン・ユドヨノ陸軍副参謀総長の好意によって、国軍の兵士二百人を撮影のために、二ヶ 私は映画『ムルデカ 05817』の現地ロケのために、インドネシアに通った。

匍匐前進すらできないから、この映画は軍の協力なしに、つくることができなかった。 ジャカルタの軍事博物館の前には、前大戦中の日本の九五式初期練習機が、展示されて 戦闘シーンが多かったが、シロウトのエキストラを使ったのでは、分列行進はおろか、

中にインドネシアから、石油を日本本土に輸送するのが困難になると、 複葉の九五式練習機は、日本国民から〝赤トンボ〞の愛称によって親しまれたが、大戦 航空兵の訓練が行われるようになった。 インドネシアにお

縦も教えた。日本が敗れると、独立軍が九五式練習機をオランダ軍の上空に飛ばせて、手 日本軍はインドネシア青年の志願者を、兵補として入隊させたが、航空機の整備や、

づかみで、爆弾を落した。

半分、白く塗り潰されて、メラ・プティにかえられている。 ジャカルタの軍事博物館に展示されている九五式練習機は、 機体の日の丸の下の部分が

バンバン・ユドヨノ副参謀総長は、二○○四年の大統領選挙によって、大統領に就任し

た。

ペタ幹部要員の訓練施設となった。 柳川中尉の『青年道場』は、ジャワ島のボゴールにあった。『青年道場』が拡充されて、

あるのと同じ、スディルマン将軍の立像がたっている。 ボゴールに『ペタ博物館』があるが、正面にジャカルタのスディルマン大通りに

博物館のなかには、 ペタが使用した武器や、文書、写真、絵など多くの品々が展示され

撲をとっているレリーフがある。 ている。そのなかに、インドネシア青年たちが日本軍教官に指導されて、土俵のうえで相

映画『ムルデカ』のなかでは、『青年道場』の校庭で、日本軍下士官の教官も裸になっ

て、「サンパイ・マティ!」(死ぬまで戦え!)と叫びながら、青年たちに稽古をつける場

### シアヌーク国王が演じた日本兵

讃するのに、言葉を惜しまれなかった。 私はカンボジアのシアヌーク国王と、親しくさせていただいたが、大戦中の日本軍を賞

国王は御自分で映画を監督し、主演されることを、趣味とされてきた。

された、『ボコールの薔薇』という劇映画を製作された。 シアヌーク国王は、北朝鮮に亡命中の一九七九年、ピョンヤンの撮影所で、製作・主演

ンに、半分ずつ滞在されていた。日本政府の賓客として来京されると、 国王はベトナム軍がカンボジアに侵攻すると、国外に逃れて、北京と北朝鮮のピョンヤ いつも帝国ホテル

時に、この映画のビデオを頂戴した。 に泊まられた。 私は国王にホテルに招かれて、ワインを振る舞われながら、お話を伺った。そのような

試写会には、金日成主席が長男の金正日書記を連れて出席して、「すばらしい映画だ」

と誉めたと、 いわれた。

金日成主席の肖像画とともに、主席を称える字幕がでてくる。

日本軍がカンボジアのボコールに、進駐するところから、始まる。

れているが、 有力者の美しい娘で、大佐の恋人として出演されている。ビデオは、朝鮮語に吹き替えら 国王が日本軍の部隊長である、長谷川一郎大佐を演じていられるが、モニク王妃が町の 海外向けに、 英語の字幕がついている。

呼して、迎える。 エキストラとして、動員されている。日本軍がやってくると、民衆が「解放者」として歓 映画の日本軍は、じつに規律正しい。多くの日本兵が登場するが、朝鮮人民軍の兵士が

がる。 接収したフランス軍司令部の屋上から、フランス国旗の三色旗が降ろされ、

佐は軍刀を吊って、 長谷川大佐が「日本はアジアを自由にするために、戦っている」と、演説する。長谷川大 朝鮮人民軍の兵士たちが整列して、日の丸に向かって捧げ銃をするのには、苦笑したが、 終始、凛々しい日本軍人として、描かれている。

フランス軍と戦う場面もある。フランスの司令官が戦死するが、

さな教会で、葬儀が行われる。大佐も参列し、柩が地中に降ろされてゆくのを、挙手の礼 で見送る。敵に手厚い日本軍人だ。

末期にいたり、副官が広島に原爆が投下されたことを、報告にくる。副官が去った後に、 大佐が慟哭する。 大佐は執務室の机の上に、軍装で白馬を駆られる天皇の御真影を、飾っている。戦争が

下が演じる、恋人の家を訪れて、ピアノを弾く。 日本が無条件降伏したという通信を受けた後に、大佐が町の有力者の娘で、モニク妃殿

される。 薫る日本の春、紅葉に染まった秋の山河、白雪に覆われた冬の日本が、つぎつぎと映し出熱 曲は、「さくらさくら」だ。長谷川大佐が奏でる旋律が流れるなかで、桜が爛漫と咲き

本に対する思い入れと、 って、胸を打たれた。 戦争に敗れても、日本の気高い精神が少しも変わらないことを、訴える。私は国王の日 アジアの人々がそこまで慕う日本を築いた、先人たちの精神によ

員が絶句した。 韓国のジャーナリストが、私の仕事場をたずねてくるたびに、この映画を見せたが、

#### 対日協力者は民族の功労者

今日の日本では、日本が前大戦中にアジアを侵略したために、嫌われているというが、

事実にまったく反している。

国人が「漢奸」として裁判にかけられ、処刑された。 日本の敗戦後、中国では戦時中に日本に協力した南京政権の幹部をはじめ、数千人の中

けられたことは一度としてないし、ましてや処刑など論外だ。 しかし、東南アジアからインドにいたるまで、大戦中に日本に協力した人々が裁判にか

シアでも、インドも、ミャンマーでも、戦後、対日協力者は民族の功労者となった。 日本が侵略して、恨みをかっていたとしたら、このようなことはありえない。インドネ

戦後、駐日大使となった。アキノ大統領の一家が、対日協力者だったというように、どの フィリピンでは、初代のラウレル大統領の長男が、戦争中に日本の士官学校で学んだが、

国をとっても、このような例は枚挙にいとまがない。

## 第五章 白人による人種差別からの解放